

座談会のお知らせ

「重度の障がい者が学校卒業後に地域で生きるために」

立川市在住の重度の障がい者は、卒業後どのように生活しているでしょうか？ 近隣の地域には重心通所が複数ありますが、どの通所施設も利用希望者が多く、現在週5日の通所を希望しても、かなえられない状況になっています。

生活の課題もいろいろあります。入浴の機会をもっと増やしたい…訪問看護は利用できるのか？卒業後もいろいろな経験をさせたいし、楽しく安定した生活をしてほしいと願いつつも、自分の体力の衰えを感じて、不安を抱えている親も多いのではないのでしょうか？

医療的ケアを考える会は、重度の障がい者が地域で生きていく環境を整えていくために、声をあげ、行政とも事業者の方々とも協力して、一歩ずつ進んで行きたいと願って活動をしています。

この度、もう少し広く意見交換をしてみたいと思い、下記の通り座談会を企画しました。アドバイザーとして、NPO法人地域ケアさぽーと研究所理事の下川和洋先生をお願いしています。

一緒に考え、語り合いませんか？ ご参加をお待ちしています。

日時 2月19日(土) 午後2時～4時

場所 総合福祉センター第1活動室

参加費 無料



下川和洋先生のプロフィール

福岡県久留米市生まれ

1984 東京学芸大学初等教育教員養成課程(理科撰修)卒業

1988 東京都立村山養護学校勤務

1999 東京都立府中養護学校勤務

2002 東京学芸大学大学院(障害児教育専攻)卒業

2008～現在 東京都立八王子東特別支援学校勤務

医療的ケアの実践と研究、
講演等で活躍される

1999 読売教育賞「優秀賞」受賞

2000 東京新聞教育賞 受賞

NPO法人地域ケアさぽーと研究所理事

主な著書

東京都教育委員会「医療的配慮を要する児童・生徒の健康・安全指導のハンドブック」作成委員(1998)

「医療的ケアって大変なことなの？」ぶどう社(2000)著書

「み～んなそろって学校へ行きたい」晶文社(2005)文 井上夕香 監修 下川和洋